



(写真) 日本共産党に注目し特集を組む今週発売の週刊誌

## 都議選倍増17議席の衝撃

今週発売の週刊誌が、東京都議選で17議席を獲得し、第3党に躍進した日本共産党が次は参院選でどうなるかと特集記事を相次いで掲載しています。政党間の力関係の激変や、日本共産党への見方を大きく変えつつある有権者の状況を反映したものと云えます。

「へどうする『参院選』／『共産党に1票』は政治的劇薬か 悪魔の選択か!？」の見開き見出しで、6ページ特集を組んだのは『週刊ポスト』7月12日号。「首都・東京で異変が起こった」のは「国民に負担を強いる安倍・自民独裁政治に対する究極にして唯一の『NO』の意思表示だったからではないか」と書きます。

さらに「自民が恐れる調査・追及能力」に注目。「共産党が多少、議席を増やしても政治は変わらない」と

## 躍進の秘密、は？ 週刊誌注目 共産党に1票で政治変わる。

### 「直撃60分！」志位委員長インタビューも

考えるのは大きな間違いだ。共産党の10議席は民主党や第3極など『政権と戦わない野党』の数十議席とは、破壊力が違うからである」と書きます。

同志は、国会議員の事務所費問題、財界中枢企業の「偽装請負」問題、九州電力やらせメール事件など鋭い追及を紹介。共産党が躍進した時には、料亭政治、がなくなつたことにもふれています。「直撃60分！」との日本共産党の志位和夫委員長のインタビュー記事も掲載しています。

『週刊朝日』7月12日号は、「がんばれば共産党」意外な「応援団」の見出しで、3ページの記事。「憲法問題をめぐっては、意外な人物が「応援団」として赤旗に登場している」として、自民党元幹事長の古賀誠氏を紹介。「しんぶん赤旗」日曜版6月2日号で同氏が「96条改憲に大反対」「私にいわせると自民党と共産党こそが『二大政党』だと思っています」と語っていることを紹介し、日曜版記事の写真も掲載しました。

また、野中広務、加藤紘一の両元官房長官、神戸女学院大学名誉教授の内田樹氏ら学者、TPP問題や震災復興問題で、岩手、宮城、福島3県のJA(農協)中央会会長らが「しんぶん赤旗」に登場したことを紹介しています。

『サンデー毎日』7月14日号は、「志位和夫 独占インタビュー」。「共産党が大躍進 『3つの秘密』」／「ダメ野党の中、唯一気を吐く」とのタイトルで、アベノミクス批判から「都議選躍進の秘密」、さらには「共産党の『国家像』」までインタビューした内容を掲載しています。



小川吉開 検 索  
田尻町支部党活動募金  
1口200円のお願い

なんでも相談は  
月・水・金の  
午前10時～正午  
465-9939

6月の弁護士相談は  
12日(金)  
夕方6時～8時  
事前予約が必要です

日本共産党  
中央委員会  
HPから転載



## 中学校旧館改修工事 町内業者が受注

### 町内業者優先指名の結果

現在、田尻町は建設工事の入札指名において、田尻町内に支店をおいた業者の場合、開設から2年間は、指名競争入札において指名しない、など町内業者優先の運営を行っています。

6月5日行われた2つの指名競争入札で、どちらも同じ町内業者中心に5社が指名され、葬祭場エレベーター設置工事において道浦工務店が2479万円、中学校旧館改修工事(株)荒浪組が3116万円それぞれ落札し、田尻町において大型の公共建設工事であり、町内業者の受注となりました。

これまで共産党議員団は、町内業者を優先するように求め、そのあり方について、議論をかさねてきています。

## ブレない党 いま出番 日本共産党 演説会

お気軽にご参加ください

とき  
**7月17日(水)**  
●午後7時～(予定)

ところ  
**泉の森ホール**

マイクロバスで送迎  
午後6時20分  
りんくう府住  
集会所前  
午後6時25分  
公民館前  
午後6時30分  
吉見ノ里駅前  
バス代300円のご協力を